

資産税課長
税務課長
税制課長 殿
課税課長
県(市)税事務所長

一般社団法人 日本経営協会
理事長 岡島 芳明

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

評価実務のレベルアップと総合力アップ!

家屋評価実務

～見積書の分析及び設計図書からの拾い出し～

<令和元年 12月2日(月)・3日(火)・4日(水)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

家屋の評価方法とされる「再建築価格方式」は、構法の進歩あるいは建築設備の多様化という中で評価担当者の皆様には、技術的・専門的な知識をもち、公平・公正な評価を行って、納税者の理解を得ていくことが求められています。現場において誤りを生む原因について多種多様なものがあり、評価の難しさを感じていることと思います。

正しい家屋評価実務を行うためにはレベルアップそして総合力アップが不可欠です。

そこで本講座では、見積書の中身である各工事区分を解説し、固定資産評価基準とどう対応するか、設計図書から拾い出しをしながら評価計算を行います。

公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

【講座の要点】

- 見積書の分析方法を理解し、明確計算に強くなる。
- 見積書の分析と一般的な建築用語の説明及び設計図書の見方。
- 事務所・店舗ビルの建築設備(動力設備・空調設備)を設備図等から拾い出す方法。
- 「地域間での評価の不均衡」「不透明な課税算定プロセス」を是正し、納税者に十分な説明責任を果たせる力を養う。

記

日 時：令和元年12月2日(月) 13:00～17:00
12月3日(火) 9:30～16:30
12月4日(水) 9:30～16:00

講 師：税理士 小川 正己氏

会 場：日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8)

参加料：	本会会員(1名)	一 般(1名)
(負担金)	参加料 37,000円	40,000円

※参加料には、別途消費税がかかります。



- 申込方法：①FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。
②Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。
・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
・お申込みは開催日の3営業日前までお願いいたします。
・本講座は、定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3営業日前まで)にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他：参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お電話でのお問合せは月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いします)

東京本部 公務研修グループ

〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130

E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

▶プログラム◀

事務所、店舗ビルの評価演習
(見積書及び設計図書の関係)

I 建築工事

- 1 共通仮設費
- 2 直接仮設工事
- 3 土工事・地業工事
 - 1 一般地業工事
 - 2 杭打地業工事
- 4 躯体工事
 - 1 コンクリート工事
 - 2 型枠工事
 - 3 鉄筋工事
 - 4 鉄骨工事
- 5 防水工事
 - 1 外部工事
 - 2 内部工事
- 6 タイル・石工事
- 7 木工事
- 8 金属工事
- 9 左官工事
- 10 金属製建具工事
- 11 ガラス工事
- 12 塗装工事
- 13 内装工事
- 14 ユニット工事
- 15 雑工事

II 建築設備工事

- 1 電気設備工事
 - 1 照明設備
 - 2 コンセント設備
 - 3 動力設備
 - 4 情報通信設備
 - 5 自動火災報知設備
 - 6 非常照明設備
- 2 衛生設備工事
 - 1 衛生器具設備
 - 2 給水設備
 - 3 排水設備
 - 4 給湯設備
- 3 空調設備工事
 - 1 空気調和設備
 - 2 換気設備
- 4 昇降機設備工事
 - 1 エレベーター設置工事

III 明確計算による鉄筋コンクリート造事務所ビル (1,500㎡)
評価計算

持ち物・特記事項欄

講座には下記のを必ずご持参ください。

- ① 電卓
- ② H30単位当たり標準評点数の積算基礎
固定資産税務研究会編・(一財)地方財務協会刊
- ③ H30固定資産(家屋)評価基準・再建築費
評点基準表
固定資産税務研究会編・(一財)地方財務協会刊

講師紹介

税理士 小川 正己氏

経歴：2005年3月 東京都(主税局)を退職

同年7月 小川正己税理士事務所を開設

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60013554 『家屋評価実務～見積書の分析及び設計図書からの拾い出し～』参加申込書

※NOMA記入

--	--	--	--	--	--	--	--

令和元年12月2日～4日

会員 一般(該当欄にレ印)

役所名		電話	()	内線	<ご連絡担当者>		
		FAX	()				
所在地	〒				フリガナ	氏名	
フリガナ	参加者氏名	フリガナ	参加者氏名	フリガナ	参加者氏名	経験年数	年月
	所属部課 役職名		所属部課 役職名		所属部課 役職名	経験年数	年月
						<通信欄>	

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □不要

(経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください)